



平成24(2012)年

広報 **3** 月号  No.467

村が歩んだ この1年

のだ

○ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>
 ○Eメール soumu@vill.noda.iwate.jp

主な
内容

震災から1年 ……………	2～3	生涯学習コーナー、特対課つうしん ……	14～16
生涯学習大会 ……………	8	1歳になったよ、のだちゅ、たんけんクイズ …	17
むらの話題 ……………	9～11	情報ステーション ……………	18～19
むらから ……………	12～13	一歩ずつ前に ……………	20

月日	できごと
21~27日	復興事業説明会
30日	下安家漁協さけ・ます増殖施設復旧
同日	野田漁港市場 復旧
12月3日	仮設店舗オープン（本町地区など）
4~12日	復興事業関係者説明会
16日	第3回義援金振込
1月1日	村復興むらづくり推進室の設置
15日	小正月行事・なもみ
2月6日	のだ塩工房の完成 えぼし荘の鮭いくら弁当が元祖有名駅弁と全国 うまいもの大会で好評（全国7位に）
3月11日	東日本大震災犠牲者追悼式



復旧を果たした
下安家漁協の施設



3月11日に行われた
犠牲者追悼式

震災からの1年を振り返る

復旧復興に向けたこれまでの経過をまとめました

月日	できごと
3月11日	三陸沖でマグニチュード9.0の大地震が発生し 東日本沿岸に大津波が発生（東日本大震災）
同日	村災害対策本部設置
28日	全行方不明者の搜索完了 搜索隊解散式
4月8日	仮設住宅の建設着手
17日	村東日本大震災慰霊祭・合同葬儀
28日	第1回災害義援金振込
5月27日	村復興基本方針策定
12、16日	村復興計画に係る住民懇談会
14日	中学校応急仮設住宅の完成
6月17日	復興に関する村民アンケート調査
19日	21世紀むらづくり委員会（計2回開催）
21日	復興に関するアンケート調査 （中学生・高校生用）
23日	第1回村東日本大震災津波復興計画策定委員会 （計4回開催）
29~30日	応急仮設住宅の完成 （門前小路、泉沢、米田、下安家）
7月3日	全11カ所の避難所閉鎖
6日	野田漁港市場仮復旧
14日	第2回義援金振込
31日	体育館での支援物資配布が終了
8月26日	チーム北リアスが現地事務所で活動開始
27~28日	村復興イベント開催
9月20日 ~30日	復興に係る住民懇談会
10月4日	下安家漁協の復旧
20日	自営定置網の初網起こし
11月3日	三鉄起工式
5日	村避難訓練
6日	仮設店舗オープン（米田地区）
7日	村東日本大震災津波復興計画を策定



大きな被害を受けた
城内地区



震災直後の災害対策
本部の様子



5月に完成した中学校
仮設住宅（120戸）



米田地区仮設店舗の
オープン（11月）



ボランティアなどの支援
により実施できた共同
による山車の奉納（8月）

村内の被害状況

■人的被害

死者数 37人（うち住民 28人）、行方不明 0人、負傷者数 17人

■住家被害

514棟（流失・全壊 311棟、大規模半壊 136棟、半壊 32棟、一部損壊 35棟）

■避難者数 912人 11か所（最大時）

【避難者数の推移】（単位：人、個所）

月日	避難者数	避難所数	月日	避難者数	避難所数
3月12日	912	11	5月10日	281	8
3月20日	403	11	5月20日	122	5
3月31日	397	9	5月30日	111	5
4月11日	319	9	6月10日	95	4
4月20日	298	8	6月20日	89	4
4月30日	298	8	6月30日	83	4

※平成23年7月3日、全避難所を閉鎖

■仮設住宅の入居者数

5月14日 野田中学校仮設住宅（315人）

7月2日 泉沢仮設住宅（76人）、米田仮設住宅（51人）、
下安家仮設住宅（22人）、門前小路仮設住宅（36人）

■人口および世帯数

（平成23年2月28日時点） 人口 4,849人 世帯数 1,674世帯

（平成24年2月29日時点） 人口 4,677人 世帯数 1,646世帯

復旧・復興に向けたインタビュー



沖に向かう船越丸
同船は玉の脇漁港で被災しましたが、現在は復旧し下安家の漁師たちの大切な船となっています

つらく悲しい体験を乗り越え、 復旧・復興を実感できる1年に

1年前の3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という誰もが予想しない、そして経験したことのない大地震が発生し、その後、東日本太平洋沿岸部に大津波が襲来しました。
本村でも村中心部を含め、多くの集落が津波に呑み込まれ、野田村の発展にご尽力をそがれた方、震災前



小田祐士村長

まで野田村を支えて下さっていた方、そしてこれからの野田村を背負って立つ方など、28人という多くの尊い命と永年積み重ねてきた地域の、そして住民の大切な財産が失われました。
誠に残念でなりません。しかしながら、我々は悲しんでばかりはいられません。先人達が幾度ももの苦難を乗り越えて素晴らしい地域

を作ってきたことに想いはせ、その知恵と心意気を見習い、今を生きるためにそして未来のために、住民一丸となって復興に向け頑張っていかなければなりません。
それが我々の使命であると思っています。

震災後に寄せられた、全国から世界中から、そして県内各市町村からの温かいご支援、励ましに元気づけられ、人のやさしさに感謝しながら一歩ずつ復旧の歩みを進めてまいりました。
いまだ復旧事業も思うように進まない部分が多く、復興への道のりは長く険しいものになると思いますが、必ずや成し遂げなければなりません。

活力のある元気な村、子どもたちの笑顔がはじける村、住み続けたい村を創るために、結いと協働の心で、前を向いて共に頑張ってくださいませよう。

今思えば、 やってよかった



小谷地勝さん(港、43)
野田養殖組合長

震災のあった日、何が起きたのか理解できず、船が流されるのをただ見ているしかなかった。
これが津波か、怖さを分かっていなかった。

今年は何もできない、そう思っていたが、あるとき漁協組合長に「今年も養殖やるか」と、ふいに聞かれたとき、投げやりに「はい」と答えてしまった。

船も、道具もそろっていない中、はたして本当にできるのだろうかと一人悩んでいたが、先輩の「1年休むとだめになる」という言葉や仲間たちの「やったらいがべ、やっぺし」の言葉に支えられて決断できた。

1年が経って振り返ると、ホタテの稚貝も無事に出荷できたし、ワカメももうすぐ出荷できる。ここまでできたことがうそのよう。1つ1つ、もともとやってきた仕事を取り戻せるのがうれしい。

これからの1年間は、漁師にとっては本当のスタート。船も道具もそれなりにそろって、これまでと同じ仕事に戻る。

支援を無駄にしないよう、前の年と同じではなく、以前の生活を取り戻すまで努力をしたい。

復興は「みんないっしょ」ではダメだと思う。どこかが「ガツ」と進んで、互いに刺激しあいながら行きたい。

とにかく今思えばやってよかった。これが一番の教訓だと思う。

支援で結んだ絆

大切にしたい

震災後、荒れ果てた村を見て、被災していない自分には何かできることはないかと考え、花屋という立場をいかして、心や街並みが明るく温かくなるようにボランティアなどの活動に参加してきました。

仮設住宅には花が好きな人が本当に多く、正月飾りやクリスマスリース作りなど

さんの支援が必要となると思います。
これまでに出会った人たちとの絆を大事にして、村や商店街の復興にがんばっていきたいです。



大沢幸正さん(上新山、38)
村商工会青年部長

最後の一人の復興まで お手伝いしたい

チーム北リアスはこれまで震災で大きな被害を受けた野田村の復興を手助けしようとして各地の大学やNPOなどの団体が協力して活動

を続けてきました。
震災直後はがれきの片付けや炊き出しなどのイベントを中心に行いましたが、

今後は仮設住宅やみなし仮設の見守りに力を入れ、住民の悩み事や困っていることへのお手伝い、最後の一人の復興まで、お手伝いをしていきたいと思えます。

さまざまなお手伝い活動や個人個人の寄り合い組織である私たちは、地域や専



永田素彦さん(42)
チーム北リアス共同代表
(京都大学准教授)

数々のご支援、ありがとうございました

9500万円にもおよぶ義援金、数え切れないほどの物資や人的支援など、支えてくれた皆さまへの感謝を忘れません。



- ① チーム北リアスなどの支援で行われた合同七五三
- ② ドンアルマスのライブ
- ③ 小惑星探査機はやぶさの川口淳一郎教授
- ④ 温かい気持ちが入められた支援物資
- ⑤ 多くの支援によって開催された復興イベント
- ⑥ 米軍の赤十字ボランティア
- ⑦ 捜索現場に向かう消防隊員
- ⑧ 神戸市への招待旅行
- ⑨ 県立不来方高校音楽部の支援コンサート
- ⑩ 春日野部屋の復興支援朝稽古
- ⑪ 林洋子さんのひとり語り
- ⑫ 末日聖徒イエスキリスト教会からの支援
- ⑬ 久慈工業高校のボランティア活動
- ⑭ 瀬戸内寂聴さん来村
- ⑮ 青森県立田子高校郷土芸能部
- ⑯ 台湾佛教慈濟基金会からの災害見舞金
- ⑰ 県内外からの応援職員の皆さん
- ⑱ 積雪のなか、捜索を続ける隊員たち
- ⑲ 弘前市民などが作成したのんちゃんねぶた
- ⑳ 新琴似天舞龍神のよさこいソーラン
- ㉑ 東北P G Cなどによる写真修復イベント
- ㉒ あんべ光俊&松本哲也ライブ
- ㉓ 青森県乗馬倶楽部 乗馬・ふれあい体験
- ㉔ 民謡歌手伊藤多喜雄さんと野田中生によるよさこいソーラン
- ㉕ 住宅を清掃するボランティアの皆さん
- ㉖ 弘前市からスクールバスの贈呈
- ㉗ My Little Loverのコンサート
- ㉘ 女優戸田恵子さんらによるアニメキャラバン
- ㉙ 葛巻町立江刈小学校などによる炊き出し
- ㉚ がれき撤去に尽力して下さった皆さん

震災直後から現在まで、世界中から様々な形で村へ支援がありました。
 震災で混乱し、疲れ切った私たちに差しのべられた、たくさんのぬくもりに支えられ、ここまで頑張っただけでした。
 これからの復旧・復興にはまだまだたくさんの支援が必要となりますが、これまで受けた恩に報いるために全力で前に進んでいきます。

生涯学習大会

自ら学ぶ姿勢をたたえ

7団体、79人を表彰

生涯学習への意欲を高め、学習活動に取り組むきっかけとすることを目的とした平成23年度の村生涯学習大会が総合センターで開催されました。

大会には村教育振興会や村読書感想文コンクールの表彰者など約170人が出席しました。

小田村長のあいさつのあと、7団体79個人が表彰された後、小中学生による実践発表や「森と風のがっこう」校長、吉成信夫氏から「賢治と心の復興—子どもたちとともに—」をテーマとした講演が行われました。



高台移転などの説明を聞き入る住民

進む復興事業

国の第1回復興交付金事業の交付額が公表され、村は城内、米田・南浜地区の高台移転事業や土地区画整理事業などをはじめとするほぼ全ての事業が認められ、県内でもいち早く交付決定前の事前着手が認められました。

また、2月25日と26日に、それぞれ高台集団移転事業と土地区画整理事業の関係者説明会が役場会議室で行われました。

これらの説明会では県内で初めて、被災した土地の買い取り価格の指標となる標準価格や高台移転候補地の平均分譲価格などが示されました。

村では同説明会をもって、防災集団移転促進事業の意向を確認し、早期の合意形成を図り、8月からは宅地の造成に着手し、平成27年度までに事業を完了する予定です。

交付金事業で交付が公表された主な事業

事業名	事業費(万円)
防災集団移転促進事業	172,713
漁業集落防災機能強化事業	23,625
都市再生事業計画案作成事業	10,350
都市公園事業	35,250

活 久慈地方農業振興大会

久慈地方農業振興大会は2月9日に久慈市で行われ、村内の農業関係者6人が表彰されました。

園芸生産拡大者

品目別販売優秀賞 明内勝義
市町村別優秀賞 崎廣 保

ほうれん草夏季収量アップコンクール

優良賞 鹿糠沢吉太郎

フラワーコンテスト

優秀賞 平清水幸広
奨励賞 明内 勝義
明内 永一



代表受賞をした明内勝義さん

熱 野田小 ワカメ教室

食育出前講座わかめ学校給食は2月7日に野田小学校で行われ、2年生23人は、村の生産者・小谷地勝さんなどからの説明を受けてわかめへの理解を深めました。

説明の後、茶色い生のわかめを熱湯にひたして、どのような色になるか実験を行い、普段食卓で目にする緑色のわかめに変化すると、大きな驚きの歓声が上がりました。



鮮やかな緑色に驚く児童

村読書感想文等コンクール

【小学校低学年】《最優秀賞》橋場光汰② 《優秀賞》林崎琴美①、石井愛星② 《優良賞》坂本柚月② 【小学校中学年】《最優秀賞》岡山岳人④ 《優秀賞》佐藤かん④、松場柊子④ 《優良賞》押川裕貴④、中館鞠④ 【小学校高学年】《最優秀賞》中村樹里⑥ 《優秀賞》道しまどか⑤、中野那都⑥ 《優良賞》

読書感想文

【小学校低学年】《最優秀賞》田中睦子① 《優秀賞》水上源①、貳又日菜① 《優良賞》小谷地翔大①、中野颯太①、林崎琴美① 【小学校中学年】《最優秀賞》泉田宗一郎③ 《優秀賞》堅谷暖④、中野千景④ 《優良賞》外浦義輝③、岡山岳人④、山田ひかり④ 【小学校高学年】《最優秀賞》佐藤麻衣

読書感想文

【野田小学校】大沢彪⑥、小野莉加子⑥、中村佳乃⑥、小野紗恵花⑤、女子4×100Mリレーチーム⑥ 【野田中学校】柔道部(男子)中野経清③、中野修源③、

健康スポーツ表彰

【野田の元気を伝えよう】野田小学校6年生 【読書活動】中村樹里・野田小⑥、坂本晋哉・野田中③ 【野田村を創る】私たちが考えた野田村復興計画 【新山陸・野田中③、中村果歩・同

森春香③

【中学生】《最優秀賞》岡山秀人② 《優秀賞》中野友莉①、広内美緒③ 《優良賞》畑村和也、大澤悠里①、藤

学芸表彰

【野田小学校】合奏団、合奏団クラリネット七重奏、合奏団打楽器五重奏、佐藤かな④、泉田宗一郎③、小野紗恵花⑤ 【野田中学校】吹奏楽部、吹奏楽部金管六重奏、道上和馬③、日脇陸生③、米田一③ 【久慈工業高等学校】廣崎智恵美③、廣崎瑞歩③、浜坂歩夢② 【久慈東高等学校】大沢睦②

実践発表

【野田の元気を伝えよう】野田小学校6年生 【読書活動】中村樹里・野田小⑥、坂本晋哉・野田中③ 【野田村を創る】私たちが考えた野田村復興計画 【新山陸・野田中③、中村果歩・同

待 望の体育館復旧

このほど、震災被災した村体育館の修繕が完了し、4日に久慈地区の9つの中学校が出席する第16回村長杯バレーボール大会が開催されました。

同体育館は震災直後から支援物資の保管・配布の場所として利用され、約1年ぶりに観客の歓声が響きました。



新たにテニスコートを2面作ることができるようになった体育館

心肺蘇生法訓練用人形12体整備 コミュニティ助成で防災力アップ

村では、このほど(財)自治総合センターが実施する宝くじ普及広報のため行っているコミュニティ助成事業で心肺蘇生法訓練用人形12体を整備しました。

これらの人形は、婦人消防協力隊による心肺蘇生法の啓発・普及や訓練などに使用され、災害時や緊急時の応急手当技術の向上による地域の防災力アップを図ります。



(写真上) 整備された心肺蘇生法訓練用人形
(写真右) 宝くじのマスコットキャラクター クーちゃん



背もたれから伸びる腕に抱きしめられ、ほっこり写真右は考案者の安田圭沙さん

だ だっこのいすでほっこり気分

だっこのいす贈呈式は2月20日に野田小学校(高橋啓司校長、児童195人)で行われました。

「だっこのいす」とは宮崎県日向市で行われた杉コレクション2011の子ども部門でグランプリを受賞したいすで、同県比知屋東小学校3年の安田圭沙さんが考案したものです。

式典で安田さんは「震災で寂しい思いをしているときに、ほっこりと温かい気分になれるようになってほしいです」といすに込めた思いを話しました。

同いすの贈呈には、同コレクション審査委員長の内藤廣・東京大学名誉教授が発起人となり、宮崎県でだっこのいすを東北に贈るプロジェクトが発足し、村への贈呈が実現したものです。

試 久慈工業高校 卒業式

久慈工業高校(遠藤敏夫校長、生徒208人)の卒業式は1日に同校体育館で行われ、今年度卒業する75人一人一人に遠藤校長から卒業証書が手渡されました。

同学年は、東日本大震災で同級生の内野沢美里さん(普代村、当時2年生)や、2年生の担任だった橋本祐子教諭などを震災で亡くしており、式典で黙祷を捧げたほか、学校で学んだことを復興の原動力として活躍することを固く誓いました。



遠藤敏夫校長から卒業証書を受け取る谷地彩花さん(北区)



ベンチを贈呈した三上広平くん(左から2番目)、坂下竜くん(同3番目)

人 久慈工業高校 ベンチ贈呈

久慈工業高等学校の生徒たちは、2月16日に村に、ベンチを贈呈しました。

ベンチは人が気軽に集まれる場所を作り、自然にコミュニケーションが取れるようにと願い、建設環境科建築コースの生徒などが授業の時間などで作成したもので、大沢住資(株)から材料を譲り受け、さんりく基金の助成を受けて実現されたものです。

アナログテレビ放送は
3月31日に終了します

でんわ、急げ!
デジサポへ



※カーナビなどでアナログテレビ放送を受信している場合も視聴できなくなりますので、早めの対応をお願いします。

■問い合わせ
デジサポ岩手 ☎019・903・0101

買 市日サロン盛況

毎月16日に行われている愛宕参道市に併せて実施されている市日サロンは、2月16日にも行われ、市日の買い物客などでにぎわいました。

買い物のついでに無料で血圧測定やスタッフによるマッサージ、健康相談などを利用することができ、市日を中心とした地域の「たぐきり」の場になっています。



温かい飲み物でほっと一息ついてから血圧測定やマッサージを受けることができます。

平成24年4月1日から

高額な外来診療を受ける皆さまへ

「認定証」などを提示すれば、窓口での支払いが一定額にとどめられます

これまでの高額療養制度では、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていたが、平成24年4月1日からは、窓口での支払いが限度額までとなります。



高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
70歳以上の人 (非課税世帯を除く)	事前手続きは必要ありません	通常通り「高齢受給者証」もしくは「後期高齢者医療被保険者証」を窓口で提示してください
70歳未満の人 70歳以上で非課税世帯の人	加入する健康保険組合などに「認定証」(限度額適用認定証)の交付を申請してください	「認定証」を窓口で提示してください

■問い合わせ 住民福祉課 ☎78・2928

世界を 人を つなぐ赤十字

日本赤十字社は、国内の災害や世界各地の災害・紛争により困っている人たちのために、医療救護、生活・教育支援などを行っています。

東日本大震災への支援は、日本国内の皆さんから寄せられた「義援金」のほか、海外の赤十字を通じて「海外救援金」が寄せられています。これは、世界各地の人々が日本の被災者のための寄付であり、およそ530億円になると見込まれ、世界中からの温かい思いを形にして、被災された人のため、復興支援事業に「海外救援金」を活用しています。

【村に対する主な支援】

- ① 医療救護チーム（医師、看護師）の派遣
- ② 生活家電セット給付（冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、テレビ、電子レンジ、電気ポット）
・応急仮設住宅分・・・213戸
・県借上民間賃貸住宅等分・・・90戸
- ③ 生活用品等の支給
・毛布・・・500枚超 ・食料・飲料水など
- ④ 仮設住宅集会所・談話室、高齢者などのサポート拠点への備品配備
(テーブル、イス、食器棚、テレビなどの家電)
- ⑤ 赤十字活動車両の寄贈 役場3台



赤十字からの救援活動車両

野田村は被災地であることから、平成23年度に社資の募集は行いませんでしたが、24年度は通常どおり募集します。世界中の助け合いのため、ご協力をお願いします

日本赤十字社岩手県支部野田村分区（事務局 役場住民福祉課） ☎78・2927

測定場所	測定日、測定値（地上1m / 地上1.5m、単位 μSv ）			
	2月13日	2月20日	2月27日	3月5日
宇部集積所	0.08 / 0.09	0.10 / 0.10	0.08 / 0.07	0.14 / 0.12
陸中野田駅	0.10 / 0.09	0.08 / 0.08	0.04 / 0.03	0.10 / 0.11
役場	0.05 / 0.04	0.06 / 0.07	0.05 / 0.05	0.07 / 0.06
米田集積所	0.08 / 0.08	0.08 / 0.08	0.07 / 0.07	0.10 / 0.10
横合中央公民館	0.13 / 0.13	0.08 / 0.08	0.05 / 0.04	0.13 / 0.12
大葛公園	0.11 / 0.10	0.07 / 0.07	0.13 / 0.13	0.12 / 0.13
野田玉川駅	0.12 / 0.11	0.08 / 0.07	0.11 / 0.10	0.13 / 0.11
下安家漁協	0.13 / 0.12	0.08 / 0.09	0.11 / 0.08	0.05 / 0.05
門前小路仮設住宅	0.09 / 0.08	0.11 / 0.10	0.10 / 0.10	0.12 / 0.10
中学校仮設住宅	0.11 / 0.11	0.12 / 0.11	0.11 / 0.11	0.10 / 0.09
泉沢仮設住宅	0.12 / 0.11	0.11 / 0.11	0.13 / 0.13	0.08 / 0.09
米田仮設住宅	0.14 / 0.14	0.11 / 0.11	0.11 / 0.11	0.08 / 0.09
下安家仮設住宅	0.08 / 0.07	0.10 / 0.09	0.12 / 0.12	0.05 / 0.05
野田小学校	0.05 / 0.04	0.07 / 0.06	0.10 / 0.09	0.10 / 0.11
野田中学校	0.11 / 0.11	0.06 / 0.06	0.08 / 0.08	0.12 / 0.11
野田村保育所	0.09 / 0.09	0.08 / 0.07	0.08 / 0.07	0.12 / 0.12
日向保育所	0.08 / 0.07	0.12 / 0.10	0.09 / 0.10	0.10 / 0.10
玉川保育所	0.12 / 0.10	0.11 / 0.11	0.08 / 0.07	0.10 / 0.10

村内放射線量調査結果

測定結果は最大で $0.14 \mu\text{Sv}/\text{時}$ で、国の定める暫定基準値 $20 \text{mSv}/\text{年}$ ($3.8 \mu\text{Sv}/\text{時}$) を大幅に下回りました。

■問い合わせ 住民福祉課 ☎78・2927

三鉄通学者への商品券助成を1年間延長

三陸鉄道で高校に通学する新1年生が、陸中野田駅で定期券を購入したとき、購入代金の1～2割相当を村内共通商品券で支給します。

制度は2つ。①久慈工高に通う村内外の生徒を対象に2割の商品券を助成するもの、②村在住で村外の高校に通う生徒を対象に1割の商品券を助成するものです。

この制度は、三陸鉄道の利用促進、通学費の負担軽減、久慈工生の定員確保、地域経済の活性化などの効果を上げるため、村や久慈工高を守り育てる会が連携して平成20年4月から実施しています。

■問い合わせ 総務課 ☎78・2111

住宅リフォーム奨励金を3年間延長します

地域経済の活性化を推進し、防災対策のためのリフォーム需要増に対応するため、村住宅リフォーム奨励金制度を平成26年度まで3年間延長します。

■対象工事

村民が村内事業者により施工する30万円以上(税抜)の住宅改修工事。ただし、住宅の機能向上が認められるリフォームに限ります。単なる修繕や新築は対象外となります。

■交付奨励金

対象工事費の1割以内の額を「野田村共通商品券」で交付します。(上限10万円)

■その他

- ・村税を滞納していないことなど、各種諸条件があります
- ・他の助成制度と重複して奨励金を受けることはできません

■申し込み・問い合わせ 産業振興課 ☎78・2926

ウィンタースポーツを満喫!

野田村悠YOUスポーツクラブ

スケート・ニュースポーツ体験教室

2月18日から19日まで、スケート・ニュースポーツ体験教室が二戸市県北青少年の家で行われました。

参加した野田小学校の7人の児童は、それぞれのレベルに合わせたスケートの練習を行い、コツをつかんで上手に滑ることができていました。また、ニュースポーツでは、ユニカールやキンボールなどで身体を動かしながら全員で楽しんでいました。

1泊2日という時間の中で児童達は、友達と交流を深めながら、集団生活の仕方を学び、充実した2日間となりました。



上手に滑れるようになりました!



天気も良く、最高のスキー日和でした!

スキー・スノーボード教室

2月26日、八幡平リゾート、パノラマスキー場で行われたスキー・スノーボード教室では、小中学生、一般を合わせて14人が参加しました。

天候と雪質に恵まれたスキー日和の中、インストラクターからそれぞれのレベルに合わせた基本の滑り方などの指導を受け、参加者達は何回も転びながらも元気に練習を繰り返し、短い時間の中で上達することができ、有意義な時間を過ごしていました。

図書館だより

移動図書館車が3月で終了になります!

7月から本の貸し出しを行っていた、久慈市立図書館の図書館車「ぎんなん号」が3月27日で終了となります。本を返却をしていない人は、下記の時間の通り、中学校仮設住宅、役場前広場にて返却をお願いします。

■運行日
3月27日(火曜日)

■運行時間
中学校仮設住宅 13:00~14:00
役場前広場 14:15~15:30
※返却のみとなります。貸し出しはできません。



ぎんなん号
8ヶ月間ありがとうございました!

ヴァイオリンで癒しのひと時を ~木野雅之復興応援コンサート~

2月8日、日本フィルハーモニー交響楽団の木野雅之さんによる復興応援コンサートが行われました。

木野さんは、鉄道ファンでもあり、震災後は三陸鉄道復旧支援や三陸鉄道の回数券を計48万円分、ご寄付していただくなど、積極的な活動をされています。

当日は、村民約80人が来場し、木野さんの同級生でもあるピアニストの平沢匡朗さんも加わり、ヴァイオリンとチェンバロによる、ヴィヴァルディの四季「春」などクラシック曲の素晴らしい演奏を間近で鑑賞することができました。



ヴァイオリンとチェンバロの素敵な演奏でした!

美しい音色で会場を魅了

~ブルース・ヒューバナー尺八演奏会~

2月9日、外国人の尺八演奏者、ブルース・ヒューバナーさんによる尺八演奏会が行われました。アメリカ出身の同氏は、世界各地で音楽活動をしながら日本の大学でも尺八を教えるなど、ご活躍されている方で、この日は村民約60人が演奏を聴きに会場に訪れました。

ヒューバナーさんは、流暢な日本語で尺八について教えてくれたり、「南部牛追唄」など、誰もが耳にした時のある曲を演奏しました。また、ゲストとして秋田県からミュージシャンの、あるまんど山平さんが登場し、素敵な歌声を尺八とともに披露しました。



尺八の音色とあるまんどさんの歌声に癒されました

一年間の感謝の気持ちを伝えよう!

放課後子ども教室「野田キッズセンター」

野田キッズセンターの最後の活動となる「ありがとうパーティ」が3月1日、総合センターで開かれ、児童21人と講師36人が参加しました。

今年度は、村外からもボランティア講師としてご協力をいただき、大正琴や工作など、さまざまな体験を子ども達に提供してくれました。

パーティでは、講師と子ども達でゲームをしたり、美味しいおやつを食べながら楽しく交流を深めました。また、子ども達が心を込めて書いた「ありがとうカード」を講師に手渡し、感謝の気持ちを伝えました。

ボランティア講師のみなさん、一年間ありがとうございました!



来年度もみんなで遊びに来てね!



の
だんちゅ
野田人

1歳になったよ

かいと
海翔くん
(下明内)
生平幸介さん・牧子さん 長男
パパより
早く一緒にダンスしようね♡



復興に向けてがんばってほしい

新成人を狙った悪質商法に注意

20歳になると自分の意思で契約ができるようになります。若者を狙う悪質商法には注意しましょう。また、被害にあったら、すぐに相談しましょう。

ウマイ話に騙されない!



悪質商法にNO!

被害に遭ってもあきらめないで、まずは相談!
■問い合わせ
久慈広域消費生活センター ☎54・8004

たんけんクイズ

復活!
のだ塩 200g
が5人に当たる!

先月号の当選者は、ありませんでした。
◎クイズです
問題
観光物産館はあぶる店内に入り、3つの文字を探し並べ替えてください。その言葉は?
ハガキにクイズの答え、住所、地区名、氏名、年齢、電話番号を記入し、
〒02818201
野田村大字野田20-14
野田村役場総務課
広報のた係まで。
(4月10日(火)締め切り)
イラストなど自由にお書きください。
締め切りは守ってね♡



— 休みの日は
家でごろごろと趣味の間を過ごしています。

— 理想の男性のタイプは
好きなタイプとかはあまりないです。

— 村について
のんびりしているところがいいと思います。
震災からの復興にみんながんばってほしいです。

米田 亜希穂さん
20歳・下泉沢
— お仕事は
教育委員会の事務局で電話受付や運動公園や体育館の予約受付をしています。電話を受けるとき、失礼なことをしていないか不安です。

— 趣味は
PSPとか携帯ゲーム、イラストを書くことです。
— 自慢できることは
高校の時に情報処理検定を取ったことです。
— 自分の性格は
人にはよく「まじめそう」と言われますが、自分では全く思いません。
忘れっぽいことや、もっと気がきけばいいのに...と思うことが多いです。

再生可能エネルギーで災害に強く、地球にやさしく

津波により街灯が流失した村民広場と電力未復旧地域に、太陽光や風力で発電するLED街灯が設置されました。震災以降これらの場所は、夜間の通行に支障をきたしていましたが、地域の交通安全や防犯、災害時の避難路誘導灯として活用が期待されます。

村民広場に設置された街灯は3基で、「平成23年度岩手県企業局クリーンエネルギー導入支援事業」の補助を受け、2月24日に設置されました。この街灯は、太陽光により発電され、バッテリーに充電された電気を使用して、1日約8時間点灯します。日照が無い場合でも連続5日間使用でき、広場前の歩道を明るく照らします。



災害時の避難誘導灯としても利用できるソーラー街灯(役場前)

特対課 つうしん

ごみ減量 新エネ 定住・交流



風力と太陽光のハイブリッド発電で夜を明るく照らします(旭町)

電力未復旧地域の旧おしかわクリニック跡地付近の三差路には、青森県黒石市の小型モーター製造業(株)UNO(宇野禎倫社長)と同県内の協力企業から2月18日、風力と太陽光で発電するハイブリッドLED街灯1基を無償で設置されました。同社では、被災地での活用を含め、数カ月の実証試験を行っています。

どちらの街灯も自立運用が可能であることから、災害時の避難誘導照明としても活用が期待されます。今後村では、災害時でも最小限のエネルギーを確保できるよう、公共施設や住宅等に対し太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を図り、災害に強く、地球にやさしい環境の整備を進めていきます。

■問い合わせ 特定課題対策課 ☎78・2111

平成24年1月のごみ排出量(単位:ト)

	1月分	前月比	前年同月比
燃えるごみ	106	+29.3	+14.7
燃えないごみ	5.4	-1.6	-1.1
資源ごみ	9.6	+1.8	+0.9
合計	121	+29.5	+14.5

(資料:久慈広域連合)

1月のごみ総排出量
121ト
前月比で29.5トの増(前年同月比14.5ト増)でした。燃えるごみが約30ト増加しているのが主な要因です。
また、事業系で約22トと大きく増加しましたが、この中には災害廃棄物処理分17トが含まれています。

のどスナッフ集



今朝の給食は採れたてワカメ!
(2/7 野田小 ワカメ給食)



ワカメうまいぞ〜!
(2/7 野田小 ワカメ給食)



ホットケーキになにかける?
(2/11 野田小プレイパーク)



約一年ぶりの口開け
(2/12 長根浜)



私の写真・・・あるかな?
(2/14 思い出の写真探しお茶会)



絵手紙に想いを込めて
(2/20 あつび)



三鉄運行再開記念のCM撮影!
(3/3 十府ヶ浦)

戸籍の窓口 2月受け付け分 (敬称略)

- ★お誕生おめでとう (12月受付分)
- 中屋敷 和 歩 (進・美里) 上新山
- ♡いつまでもお幸せに (島川 良 文 下安家
清水 知 美 久慈市)
- ご冥福を祈ります
- 佐々木 ス ン (92) 下明内
宇 部 テ ル (74) 上新山
小 野 榮 一 (69) 中 平
- 人の動き
- | | | |
|---|--------|------|
| 男 | 2,278人 | (-3) |
| 女 | 2,399人 | (-5) |
| 計 | 4,677人 | (-8) |
- 世帯数 1,646世帯 (-1)
- 村内の交通事故 人身事故 0件
物損事故 8件
 - 救急車出動件数 22件
(うち村外 8件)
 - 飲酒運転検挙者数 0人
(平成23年8月1日からの累計1人)

駐在所より

入学期の交通事故防止
～新入園児・入学児童を守ろう～

間もなく新入学期を迎え、新入園児や入学児童達が元気に保育園や学校へ通い始めます。

入園・入学を迎えた子どもの行動範囲は広がるため、交通事故が心配されます。保護者や周囲の大人がお手本となり、子どもを交通事故から守りましょう。

■問い合わせ 野田駐在所 ☎78・2161

ほっとひといき

▼震災から1年を振り返り、もはや紙面では収まりきれないほどの出来事。特に支援をいただいた皆さんの紹介が十分にできず、申し訳なく思います▼いろんな人と出会えるんな考えに触れる。これが重要なことだと思います

土地家屋の無料相談

岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部は、4月1日「表示登記の日」を記念して無料相談を行います。

■日時 4月1日(日) 10:00～15:00

■場所 久慈市文化会館 (アンバーホール)

■相談内容

- ・土地の分筆、合筆、地目変更、地積更正登記
- ・建物の新築、増築、滅失登記
- ・土地、建物の調査測量
- ・境界問題

■問い合わせ 県土地家屋調査士会二戸久慈支部 久慈地区事務局 ☎59・3400

能力開発研修

月 日	研修内容	申込期限
4/10～12	新入社員研修	3/27
4/17～19	Word2007 基礎	4/3
4/24～25	Word2007 応用	4/10

■講習時間 9:00～16:00

■問い合わせ 久慈職業能力開発センター ☎53・6261

歯や口の中の健康に関する無料電話相談

■実施日 4月18日(水)

■受付時間 10:00～19:00

■受付内容 歯や口に関する悩み

■問い合わせ 岩手県保険医協会歯科部会 ☎019・651・7341

労働者無料相談

岩手労働局では、事業主と労働者との間の職場でのトラブル(解雇、いじめ、労働条件切り下げ等)を抱えている皆さんのために、無料の相談窓口を開設しています。

■開設期間 平日 9:00～17:00

■問い合わせ 岩手労働局 ☎0120・980・783

三鉄「夢」プラン大募集

■募集内容 夢いっぱい車両や駅舎、おもしろ旅行プラン、地域おこしのアイデアなど、三陸鉄道が行う事業プラン

■募集締切 3月31日(土)

■その他

- ・文書またはメールで応募願います
- ・応募いただいた夢プランについては、すべて具体的に検討し、弊社の復興と地域の活性化につながる判断出来るものは、実現に努力します
- ・応募いただいた夢プランに関する権利は三陸鉄道(株)に帰属します

■応募先・問い合わせ 三陸鉄道(株) ☎0193・62・8900

専門家による震災相談窓口

久慈地区被災者相談支援センターでは震災に関する相談を以下のとおり受け付けています。

○日時 平日 9:00～17:00

○場所 久慈地区合同庁舎

■問い合わせ 久慈地区被災者相談支援センター ☎53・4981

税務職員を募集

仙台国税局は、バイタリティあふれる税務職員を募集します。

■受験資格

- ・①昭和57年4月2日～平成3年4月1日生まれの人
- ・②平成3年4月2日以降生まれで大学を卒業する見込みの人
- ・③人事院が②と同等の資格があると認める人

■申込期間

- ・インターネット 4月2日(月)～12日(木)
- ・郵送、持参 4月2日(月)～3日(火)

■申込書の請求 最寄の税務署

■問い合わせ 仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎022・263・1111

協会けんぽ、保険料率アップ

協会けんぽ(全国健康保険協会)が運営する健康保険の保険料率は、4月納付分より岩手県では9.45%から9.93%へ、介護保険料率は全国共通で1.51%から1.55%となります。

平成24年度では保険料率引き上げ抑制に向け、国庫補助の増額や高齢者医療制度への拠出金の見直しなどを訴えていくほか、医療費適正化や保険事業の推進、そして経費削減に一層努力していきますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

■問い合わせ 協会けんぽ岩手支部 ☎019・604・9009

自衛官幹部候補生募集

■種目

- ・一般、技術幹部候補生(飛行・音楽要員を含む)
- ・歯科・薬剤科幹部候補生

■受付期間 4月27日(金)まで

■試験日 5月12日(土)
※飛行要員のみ13日(日)

■問い合わせ 自衛隊久慈連絡所 ☎53・5419

いわて農業入門塾

■実施内容 野菜栽培の実習・体験

■日程・場所 5月5日(土)～10月20日(土)の毎週土曜日 13:00～15:30(全25回)

■場所 県立農業大学校

■経費 10,000円
(教材費、傷害保険料)

■募集人員 100名

■問い合わせ 県立農業大学校 ☎0197・43・2107



「ねんきん定期便」をお送りします

日本年金機構では、4月より被保険者の皆さんに、保険料納付実績や年金額の見込みなど、年金に関する個人情報をわかりやすく記載した『ねんきん定期便』を送付する予定です。

■送付対象 国民年金、厚生年金の被保険者

■送付時期 平成23年4月から毎年誕生月に送付

■通知する内容(平成23年度)

- ①年金加入期間(加入月数・納付済月数等)
- ②50歳未満の人には、加入実績に応じた年金見込額。
50歳以上の方には、『ねんきん定期便』作成時点の加入制度に引き続き加入した場合の将来の年金見込額。なお、すでに年金受給中(全額停止中も含む)の方には、年金見込額は通知しません。
- ③保険料の納付額(被保険者負担分)
- ④年金加入履歴(加入制度、事業所名、被保険者資格取得・喪失年月日等)
- ⑤厚生年金のすべての期間の月ごとの標準報酬月額・賞与額、保険料納付額

国民年金のすべての期間の月ごとの保険料納付状況(納付、未納、免除等の別)

■問い合わせ 二戸年金事務所 ☎0195・23・4111、住民福祉課 ☎78・2928

お子さんの記念などに
デフォルメ似顔絵

●大きさ B5判。用意するもの B5正面とやや横向き顔写真(はつきりしたもの)各1枚を送って下さい。

画工料 黒1色1点1,300円、白1色1点1,300円。一週間前後で完成。

●18才の時、美空ひばりを描いて特選。他、月刊誌、週刊紙に十数点入選掲載。

桜庭昇 似顔絵作家
1級筆写士
1級イラストレーター
1級デザイン士

☎78・4096
4096
48

恐怖と心細さがあふれた。

あれから一年。うっむいければ何も変わらない。上を向いて明日を歩きましょう!

Beauty Salon
セキモト

九戸郡野田村大字野田28-12-7
TEL 0194-78-2475

被災写真募集中

・データ形式は問いません

■問い合わせ 総務課 ☎78・2111

十府ヶ浦付近の航空 (南浜 小野悦郎さん提供)

皆さまの応援ありがとうございます!

大震災の発生から、2月中に皆さまからいただいた支援の状況をお知らせします。

■ボランティア(受付終了) 0人(累計12,892人)

■炊き出しボランティア 3回(累計89回)

■支援物資(受付終了) 0件(累計820件)

■災害義援金 44万円(累計9,534万円)



向こう側が見えないほどぎっしりとワカメが生えています

一歩ずつ
前に

養殖ワカメの出荷へ

震災後にゼロから始めた養殖ワカメ

9日、下安家漁港では朝早くから同地区の漁協組合員らが集まり、船3隻でワカメの間引き作業を行いました。

同港の沖合にある養殖棚に到着した組合員らはワカメがびっしりと生えたロープを引き上げ、良質なワカメが育つようにカマで間引きしました。

震災で下安家漁港の船も1隻を残し全滅。共同購入する形で揃えた船にはクレーンがついておらず、漁師自らがロープを引き上げて作業を行っていました。

ワカメの養殖は一昨年のスイクダムシ、昨年の大津波などの被害を受けていたため、久しぶりのまとまった収穫が期待できると漁師たちも安心した笑顔を見せていました。

下安家地区のワカメ養殖代表の中村和美さん(62)は「ただただ今は仕事ができることがうれしい。これからもっと船が増えれば、漁師が競争しながら仕事ができる。収量や売上が増え、活気が生まれることが楽しみです」と話しました。



大きく成長したワカメに笑みを見せる中村和美さん



クレーンの無い船では人力でワカメの生えたロープを引き上げています



震災を生き残った船越丸。本来、定置網用の船だが、工夫して養殖作業に使用しています